

かつては海際であった別名“ぎりぎり山古墳”

尾上車山古墳



指定区分	国指定史跡
読みかた	おのえくるまやまこふん
所在地	岡山市北区尾上
指定年月日	昭和47年7月29日
解説	吉備中山丘陵に位置する大型前方後円墳。全長約134m、後円部径約44m、高さ約7m。墳形は田畑開墾によって変貌しているが、三段築成であった可能性が高い。内部主体は、後円部古墳の中央部に主軸方向に直交した竪穴式石室の所在が推定されており、葺石をはじめ後円部各所に埴輪が散布するなど、前期古墳の様相をよく伝えている。
アクセス方法	岡電バス尾上方面「花尻郵便局前」から約0.6km
公開状況	自由
設備	
備考	現在は南方に平野部が広がっていますが、この古墳が築造された当時は山裾まで海が迫っていました。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	尾上車山古墳
よみかた	おのえくるまやまこふん
しょざいち (所在地)	岡山市北区尾上
していつひ (指定した日)	昭和47年7月29日
せつめい	全長およそ134メートルの大型(おおがた)な前方後円墳(ぜんぽうこうえんふん)です。この古墳(こふん)は「ぎりぎり山古墳」とも呼(よ)ばれていません。それは、この古墳がつくられたとき、古墳の山のすそのところまで海だったからだと考えられています。